

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程について

◆本会では、福祉職員が共通して求められる専門性と組織性という2つの側面を、経験年数や役割に応じて段階的に学ぶ「福祉職員生涯研修」を開催してきました。平成28年度より複数年かけて、各法人・事業所のキャリアパスを支援するため、これまで開催してきた「福祉職員生涯研修」の内容をさらに充実させ、「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」へと段階的に移行して実施します。

なぜキャリアパスなのか

- ◎福祉職場において、職員はもっとも重要な経営資源であり、入職や離職が頻繁に行われることは、福祉サービスの質に大きな影響を与えるリスクです。
- ◎法人・事業所が持続・発展していくためには、採用した職員の持つ力を最も効果的に発揮させる人材のマネジメントとキャリアアップの仕組みの構築が求められています。
- ◎キャリアパスの仕組みを構築し活用することによって、法人・事業所側が将来必要となる人材について計画的に養成することができ、職員側も自らの将来像に向けた道筋を見通しながらキャリアアップを自律的に進めることができます。

キャリアパス対応生涯研修課程が目指すもの

◆職員それぞれが、自らのキャリアパスの段階に応じて、共通に求められる能力の向上を段階的・体系的に習得するとともに、各法人・事業所においても主体的に職員の能力や役割分担に応じたキャリアパスを構築し、これに沿った職員育成施策を確立・実施することで質の高いサービスの提供につなげていくことを目的としています。



職員個人にとっての意義

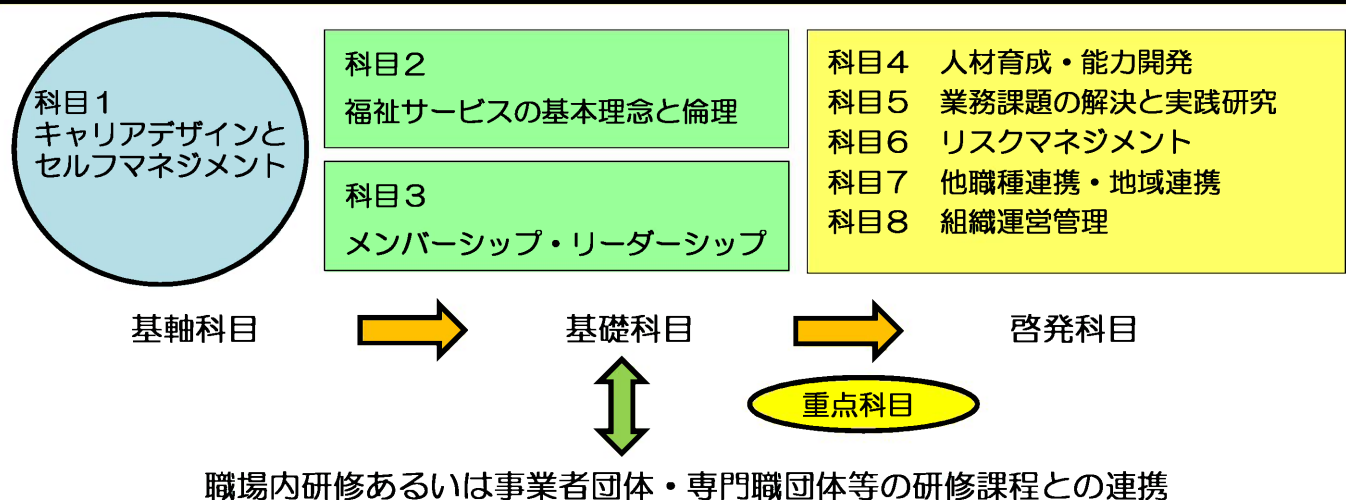
キャリアの節目で、自分自身のこれまでを振り返りながら自己イメージを明確にし、これからの進路・道筋を描くことができる。また、自らの将来像にむけて自己の可能性を最大限に生かす努力をすることができる。



組織としての意義

職員のキャリアパスを構築し、これに沿った職員育成施策を確立・実施することで、計画的な人材マネジメントを推進することになり、人材の確保・定着・育成・モチベーションの向上等の効果を高めることができる。

キャリアパス対応生涯研修課程の科目概念について



キャリアパス対応生涯研修課程 受講の流れ

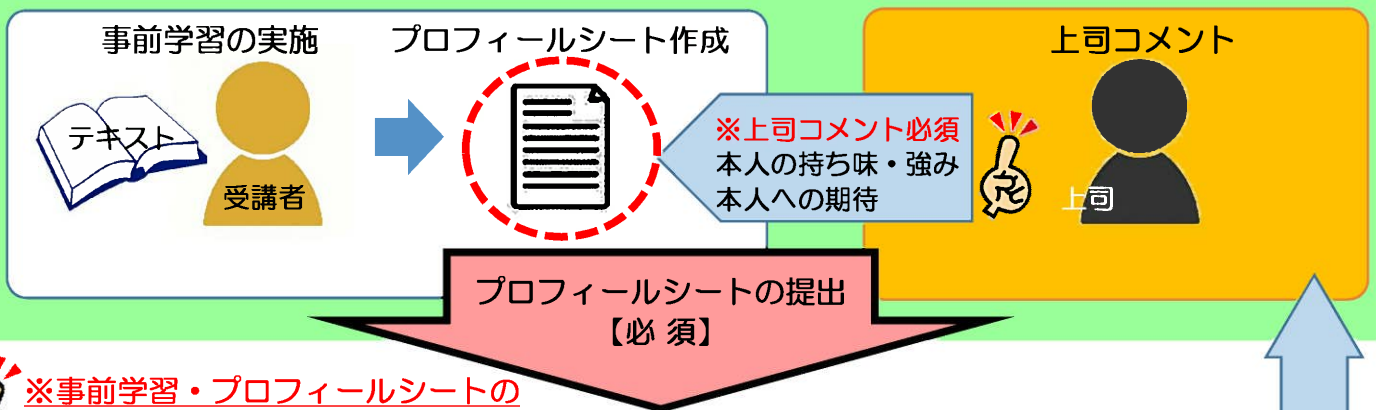
キャリアパス対応生涯研修課程では、自己学習と面接授業（講義・演習）を組み合わせ実施されます。

※以前から実施している「福祉職員生涯研修」の受講の流れとは異なりますのでご注意ください。

受講決定 ・ テキスト送付 ※テキストはテキスト代の振込確認後に送付します。

研修実施日の約1ヶ月前に受講決定者にテキストを送付します。

I：自己学習



**※事前学習・プロフィールシートの
事前提出および当日の持参がないと
面接授業は受講できません！！**

II：面接授業

プログラム	内 容
1日目	基軸科目の講義・演習 (テキスト第1章) ・自己学習で作成したプロフィールシートについてグループ内で相互紹介します。 ・テキスト第1章の内容を確認し、キャリアデザインの目的や意義について理解を深めます。
	基礎科目の講義・演習 (テキスト第2・3章) ・理解促進テスト(10問)について、個人及びグループで取り組み、第2章及び第3章の内容について理解を深めます。
	重点科目の講義・演習 ・各階層で特に重要なテーマについて重点的に学びます。
2日目	啓発科目の講義・演習 (テキスト第4～8章) ・テキスト第4～8章のポイント25項目について自らの理解度を確認します。 ・さらに、上記の中から、大切だと思うものを選ぶことで、自らが目指したい職業人としての姿を描くための素材を見つけます。
	行動指針の策定 ・自己学習および面接授業で確認した各科目のポイントをもとに、グループで各階層職員としての行動指針を作成します。 ・キャリアデザインシートを描く前に、グループメンバーと意見を交わすことで、視野を広げ新たな気づきを得ます。
	キャリアデザインシートと行動指針の策定 ・上記で作成した行動指針を踏まえ、今後は自らのキャリアデザインを描きます。

上司によるコメント (奨励事項)

私のキャリア
デザインシート